

1 平成 21 年(ワ)第 11635 号 損害賠償等(医)請求事件

2 原告 戸崎 貴裕

3 被告 宮内 茂

4

5 **故清水由貴子さんと原告との会話音声記録の反訳**

6

7

録音日 平成 18 年 5 月 30 日

8

録音内容 下記

9

録音場所 日比谷公園内

10

11 1 本 40 号証では、元タレントであった故清水由貴子さん（以下「清  
12 水」という。）が、原告に対して、原告の訴える訴外迷惑行為等（「集  
13 団ストーカー」として喧伝される犯罪のうち、原告の訴える訴外迷  
14 惑行為等と行為様態の一致するもの。）と同様の行為に遭っており、  
15 同行為が、警察官、消防吏員、郵便配達員など公務員の加担するス  
16 トーカー行為であると訴えていた事実を証する。

17 2 同音声記録は、関連事件 1 の第一回口頭弁論の傍聴に訪れた清水  
18 と、原告、及び他傍聴者 4 名（以下単に「傍聴者」と表記する。）と  
19 の間の会話である。

20 3 本反訳では、別途提出の音声記録(甲 55)からの反訳を記す。

21 4 反訳

22 清水：「(原告の) ホームページを見させていただいてね、あの、ほ  
23 んとなんか少し気が落ち着いて、今日はぜひ行きたいと思って」

24 清水：「きちんとしたホームページだと思います。みんな、されて  
25 いる人は頼っちゃうと思う。頼っちゃうっていうか、こう、あの、  
26 なんていうのかな、心の支えになってくれるホームページでした  
27 ね。」

28 清水：「ですからね、すごく、あの、こういうふうにな、どんな目

1 　　に遭われてるのかなて思って、初めてなんですけど、すごい心配  
2 　　で、心配なところがありまして、ええ、だから、あのね、妨害して  
3 　　る人が、あの、その、ホームページがね、きちんと書かれている  
4 　　から、あの、なんていうのかな、狙ったりとかされないのかなっ  
5 　　てね、ちょっと心配に思う。」

6 　　(中略)

7 　　清水：「職場からですか？いちばん最初？」

8 　　原告「気がついたのはそうですね。あの、職場っていうか、元職場  
9 　　にいた女の子ですね。」

10 　　清水：「そうなんですか。」

11 　　原告：「で、まあ、おかしいなと思って、多分その、チンピラとか暴力  
12 　　団とかそっちだろうなと思って、なんかやってくると思うでしょ  
13 　　う？ま、暴力団だったらお金が最終的な狙いだろうと思うから、  
14 　　まあ、私のお金とあと実家のお金かなと思って、でも何もしてこ  
15 　　ないんじゃ警察にも行けないから、とりあえずあの、知らん振り  
16 　　してたわけですよ。ずっと。そしたらなんか、めちゃくちゃやら  
17 　　れはじめで。」

18 　　清水：「ずっとずっと狙う、あの、こう、来るんですか？外に出ると追  
19 　　っかけてくるとか？」

20 　　原告：「あの、私は、外に出て追っかけてきたりだとか、ま、追っかけ  
21 　　てはこないんです。どちかっていうと集まってくるんですよ。邪  
22 　　魔なんですよ。ただ単に。まあ、やられてる方はわかると思いま  
23 　　すけど。例えば、本屋さんに行くでしょう？あ、見ようかなと思う  
24 　　と前にすっと出てくるとか。それがものすごく多い、しょっちゅ  
25 　　うですね。」

26 　　傍聴者：「カラオケ屋さんと一緒にいったら、カラオケ屋さんのロビ

- 1 ーに人が溜まってて、」
- 2 傍聴者：「そう、それありましたよ。同じカラオケ屋さんじゃないで  
3 すか？」（原告注：原告は多くの場合、同じ場所で被害者からの  
4 聴取を行っていた。）
- 5 原告：「多分。五反田の。」
- 6 傍聴者：「行きもいたんだけど、帰りもすごいっばいいて。」
- 7 原告：「どっちかといったら、工事中じゃなかった？」
- 8 傍聴者：「え？」
- 9 原告：「工事中になってたんですよ。あ、工事中じゃないや。中川さ  
10 んじゃないや。」
- 11 傍聴者：「エレベーターのときは、多分タクシーの運転手さんらしい  
12 人がいきなり入ってきて、こんな人世の中にいるんだっていうよ  
13 うな人が沸いてくるんだよね。」
- 14 原告：「で、わたしそれ、全然、気にしてなかったんですね。で、おそ  
15 らくそれを気がつかせるためにその、ま、読まれていればわかる  
16 と思うんですけど、」
- 17 清水：「はい。」
- 18 原告：「なんかいろいろ、変なことを言い始めた女性がいたじゃない  
19 ですか。『つけられてるかもしれないわよ』とか、『プロの手にか  
20 かったらプライベートなんて無いわよ』とか。何言ってんだらう  
21 この人はと思った。」
- 22 傍聴者：「よっぽど最初気づかなくて、やってるほうがほんとにいら  
23 いらして、あいつはほんとに気づかない、ほんとにだめだみたい  
24 になって、言うしかないってことになったんじゃないかな。」
- 25 原告：「なったんじゃないかなって思う。私最初は、ただ単にマナー  
26 の悪い人が増えたなとしか思ってなかった。」

1 (中略)

2 清水：「(上空にヘリコプターが来たのを見て。) ヘリコプターなん  
3 ですよ。ずっとヘリコプターが来るんですよ。毎日ヘリコプター  
4 来るんですよ。」

5 (中略)

6 清水：「あれなんですよ。母がね, 私がめまいおきたりとか, 母が耳  
7 がおかしくなったりとか, もうあの, 530MHz でラジオの AM かける  
8 と, あの, 変な音, もう録音もしてあるんですけど, 変な音がする  
9 んです。」

10 傍聴者：「ジジジジっていうの？」

11 清水：「ジジジジっていうの, あの, なんていうか, 空きチャンネルのと  
12 ころに, 変な, ポコポコポコポコポコポコっていう音の日があっ  
13 たり, こう, なんていうのかな, いろんな音があるんです。それが  
14 日によって違うんです。」

15 (中略)

16 傍聴者：「集合住宅でいらっしゃいますか? それとも一戸建て?」

17 清水：「小さいんですけど一戸建てなんです。密集地の。吉祥寺で  
18 すから。」

19 傍聴者：「隣が近い?」

20 清水：「ものすごい近いんです。で隣であの, 吹き付けの, 壁をこう,  
21 あの, 新しくする, ちょうど十年目なんで, お隣さんがきれいにさ  
22 せたんで。立て込みってほらこう, 組むでしょう? 足場を。それ  
23 が, 12 月ぐらいになったときに, テレビの調子が悪くなって, 1 チ  
24 ャンネル 2 チャンネル, あ, 1 チャンネル 3 チャンネルが徐々に  
25 映りが悪くて, もうすごい, ビビビビビって, こう, 雷が降りて  
26 くるみたい, 空きチャンネルのところ, こういうあれが, あれする

1 んですよ。」

2 傍聴者：「テレビのノイズが入るときは、400メートル以内にアンテ  
3 ナが、ええと、電波を飛ばしてるアンテナがあるはずなんだけど。  
4 盗撮機とかカメラ。」

5 清水：「やっぱりそうなんだ。それで、あの、玄関に、セコム入る前に、  
6 キャベツ、買ってないキャベツが、」

7 傍聴者：「キャベツ？」

8 清水：「買ってないキャベツが、2年前に置いてあって、うち2階が  
9 台所なんですけど、それで、」

10 (中略)

11 清水：「ヘリコプターがいつも、外出してて、毎日のようにヘリコ  
12 プターが来るんですよ。」

13 (中略)

14 原告：「私あの、宇都宮なんですけど、実家。これはじまったとき  
15 に帰って、駅から家まで、普通タクシーで行くんですけどね、そ  
16 の時歩いてみようと思って、3~40分くらいかな、ずっと歩いて  
17 た、私へりって、全然気にしてなかったんですけど、ずっと上に  
18 いるんですよ。で、40分くらいずっと上にいて、家に入ったら、  
19 あの、上でホバリングしてるんですよ。で、そのときでさえも、  
20 いや、へりはありえねえだろと思ったんですけど、調べてみたら  
21 皆さんへりが来るっていうから、まあ、確かに良く考えてみたら  
22 宇都宮駅から40分間も頭の上にはずっといて、家に入ったら家の  
23 上でホバリングしてるってのはこれはおかしいよなと思って。」

24 清水：「そうですよね。で、それが1日や2日とか、5回や6回ぐ  
25 らいならあれなんですけど、出かけるたんびにだから、結局気持ち  
26 悪くて、で、だから、ホームページ見たときに、あ、これだ、

1           と 思 っ て 』

2           清 水 : 「そ れ で あ と , 消 防 車 と か , パ ト カ ー , あ と , あ の , 町 の 安  
3           全 の パ ト ロ ー ル 。 も う , ほ ぼ 毎 日 で す 。 パ ト ロ ー ル , パ ト カ ー は  
4           ほ ぼ 毎 日 。 あ と 郵 便 や さ ん 。 」

5           ( 中 略 )

6           清 水 : 「私 思 っ う ん で す け ど , 加 害 者 の 人 が , 自 己 嫌 悪 に 陥 る , 両 親  
7           が あ る 人 な ら ね , そ う い う こ と や っ て て , 言 っ た り と か , 内 緒 に  
8           で き な く な っ た り , 自 分 が や っ て る こ と に ほ ん と に , や っ ぱ り ,  
9           あ の , 自 分 自 身 が 嫌 に な る こ と あ る と 思 っ う ん で す よ 。 そ う い っ た  
10          と き に , そ う い っ た と き に , そ の 人 を 攻 撃 す る 加 害 者 の 人 が 絶 対  
11          い る と 思 っ う 。 」

12          清 水 : 「だ か ら , あ の , 私 な ん か も , 仕 事 で , た ま た ま , 創 価 学 会  
13          の お 仕 事 を さ せ て も ら っ た こ と が あ っ て , た だ , 私 , あ の , や ら  
14          し て も ら う , あ の , そ の , ビ デ オ の お 仕 事 で , あ の , 引 き こ も り  
15          の 男 の 子 の お 母 さ ん 役 で , で , ち ゃ ん と 京 都 の 撮 影 所 で 撮 影 を し  
16          て , 鬼 平 犯 科 帳 の サ ン プ ル 撮 っ た ん で す ね 。 そ し た ら 掲 示 板 で 鬼  
17          平 犯 科 帳 の っ て い う ハ ン ド ル ネ ー ム の 人 が , な ん か す ご い こ と を  
18          書 い て き た り と か し て 。 」

19          清 水 : 「そ れ で , 私 は ね , あ の , そ の お 仕 事 引 き 受 け る と き に , 私  
20          は , あ の , 学 会 の 人 間 じ ゃ な い ん で す け ど 私 で 良 い ん で す か と ,  
21          私 , 他 の 方 の ほ う が い い ん じ ゃ な い ん で す か っ て , マ ネ ー ジ ャ ー  
22          さ ん に も 言 っ て い た だ い た し , あ の , そ う い う ふ う に 言 っ た ん で  
23          す け れ ど も , あ , あ の 全 然 構 い ま せ ん , 入 っ て く だ さ ら な く て も  
24          い い で す っ て こ と で , お 引 き 受 け を し て , や っ た ん で す , だ か ら ,  
25          私 は , あ , そ れ だ け , そ う い う お 仕 事 さ せ て も ら っ た の に 入 ら な  
26          か っ た か ら , も し か し た ら , す ご く 親 切 に し て く だ さ っ た ん で す

1 よ、その、学会の方たちが。あの、長野の松本の、大きな体育館  
2 行ったときに、婦人部の方たちが、お客さんをたくさん呼んでき  
3 てくださって、もう、あの、控え室はここです、鏡はここですっ  
4 て、それはもう親切にしてくれて、あ、これは、私、あの、全然、  
5 学会に入りたいとか、信者の人たちの気持ちがわからないではな  
6 く、あ、そんだけ親切な人たちが自分の仲間だったら、そういう、  
7 学会とかにも入るだろうなって、逆にそういう気持ちもわかるく  
8 らいだったんです。ただ、私は、あの、父が早くに亡くなってい  
9 るので、あの、なにか困ったことがあったり、あの、すがりたい  
10 気持ちを持ったときにはお墓参りに行くってぐらいの、あの、人  
11 間なので、その、もしかしたら学会の方が、そういうことを逆恨  
12 みされて、そういうふうにしてんのかなって、はじめそう思って  
13 たんです。なんだけど、そんだったら、警察は関係ないだろうと  
14 思ったんです。」

15 清水：「ねえ。公明党の方はたくさんね、近所にはいますけども、」

16 原告：「いてもいいですよね。」

17 清水：「ねえ。いてもいいですよね。かまわないです。だって自由  
18 だもん。宗教は自由でしょう。で、悪い宗教団体とは思わないし。」

19 傍聴人：「私もそう思う。」

20 清水：「うん。自分の心の支えになるなら。」

21 清水：「否定もしないんです。ただ、私が所属していた会社の社長  
22 さんていう人が創価学会の方だったんで。」

23 傍聴人：「浅井企画とかじゃなくて？」

24 清水：「ちがいます。ちがいます。芸映ってとこなんで、だったん  
25 ですよ。私辞めたんですけど、3月いっぱい辞めさせていただ  
26 いたんですけど。」

- 1 傍聴人：「今年のですか？」
- 2 清水：「はい。あの、やっぱり、あの、自分自身がね、お仕事する  
3 元気が無いので、やっぱり、そのまんまやると、あの、」
- 4 傍聴人：「元気なくなっちゃいますよね。」
- 5 清水：「そうなんです。それで、一旦、あの、辞めたいと思って、  
6 30、29年間いた会社を、辞めたんです。」
- 7 原告：「長いですよね。」
- 8 清水：「29年いたんですけど。」
- 9 原告「お若いですよね。なんか29年、あ、でも、いつから、」
- 10 清水：「46歳です。すいません(笑)。46なんです。もう若くないん  
11 ですよ(笑)。笑ってますけど。」
- 12 清水：「それなんでね、誰でも、こういう話は重いから、あの、仲  
13 の良い友達にも、」
- 14 傍聴人：「仲良い人に会えないですよ。女の子の友達はね。」
- 15 清水：「気が重くなっちゃうと思って、それだったら、じゃあ、戸  
16 崎さんみたいにね、あの、ご自分で、その、ホームページ立てて、  
17 それで、あ、一緒だと思って、それだったらその方のお話を聞き  
18 に行こうと思って、あの、実際にお話できるとは思ってなかった  
19 んですよ。ただ、どういう状況なのか、聞けばね、少し、あの、  
20 わかるかなと思って。それで邪魔したんです。」
- 21 清水：「私ばかり話してすみませんね。皆さんもそういう思いをさ  
22 れたってということなんですね。」
- 23 (中略)
- 24 清水：「だから結局、志(こころざし)っていうか、その、ほら、な  
25 んて、別に悪いとはいわないですけど、その、一人じゃない強さ？  
26 その、一人じゃない、私のやってることは悪いことじゃないって



- 1        いうことは、たくさんだと、」
- 2        原告：「やっぱりお墨付きがあるわけですよ。」
- 3        傍聴者：「お金だけじゃなくて、連中は悪い人間だから、監視した
- 4        り、嫌がらせをしなければいけないっていうふうな理解で、行動し
- 5        てる人も、中にはいるでしょう。」
- 6        原告：「多分、動機は結構いろいろあるんじゃないかって気がしま
- 7        すけど。」
- 8        傍聴者：「そういう人を利用する人もいるのかもしれない、だから、」
- 9        清水：「そうですね。」
- 10       傍聴者：「例えば、清水さんの存在が、キャラがかぶっているほか
- 11       の女優さんとかがいたりとかして、」
- 12       清水：「いや、そうじゃなくて、なんかね、あの、その、宗教のこ
- 13       とは否定はしないんだけど、全く無関係じゃあないだけに…現に、
- 14       現に書き込みがね、その、鬼平犯科帳の鬼平とかって書いてきて
- 15       くるっていうのが…そのスタッフの方いい方ばかりだったん
- 16       ですけどね。」
- 17       傍聴者：「だけど…」
- 18       清水：「だけどその製作をしていたのが、やっぱり、あの、創価学
- 19       会の方ですから、」
- 20       傍聴者：「なるほど。」
- 21       傍聴者：「メモとか取ってもいいですか？メモ取ってもいいです
- 22       か？」
- 23       清水：「あの、その、そのことですか？」
- 24       傍聴者：「あ、ええ。」
- 25       清水：「ただ、私が、」
- 26       傍聴者：「名前とか出さないで、」

1 清水：「まだね，あの，証拠があるわけではないので，私の頭の中  
2 での，あの，あれなんです。その方たちだっては，100%は思っ  
3 ないんです。ただ，ただ，思い当たるふしがないもので，」

4 傍聴者：「落として見られてもわかんないような感じで書いておこ  
5 う。」

6 清水：「私，ほんとに，お仕事したとき，親切だったんですよ。ほ  
7 んとに。だからあたしね，思いましたよ。芸能界の方で学会の人  
8 が多いのわかったと思った。」

9 傍聴者：「多いんですか？」

10 清水：「多いみたいですけど，私，知りませんが，だけど多いん  
11 ですよって。」

12 (中略)

13 清水：「だから，政治，政治で，政治家の人をね，やっぱり，あの，  
14 選挙のときにね，(聞き取れない)せますよってああいう人たちに  
15 言われたらね，元気が出るのわかる。そのくらい，そのくらい，  
16 あの，逆にね，あの，宗教にまっすぐになる人たちだから，まっ  
17 すぐなんですよ。だからそういうまっすぐな人たちが，例えば，  
18 そういうことをもしやっているとしたら，怖いなどは思う。」

19 傍聴者：「まっすぐな気持ちで嫌がらせしちやってるんですね。」

20 清水：「もししてるとしたらですけど。」

21 傍聴者：「私，あの，でも100%，あの関係なくではない，関係なく  
22 はないんだろうけれども，どうなのかなっていうのがあるんです  
23 よね。」

24 清水：「でも，それが警察の方と関係が，あるっていうのがねえ…」

25 (中略)

26 清水：「でもその時遭った事をやっぱ，カメラとかビデオとかに撮

